

令和4年度 古河市立下辺見小学校の教育ビジョン

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン

基本理念
『活力があり、県民が
日本一幸せな県』
Ⅲ「新しい人材育成」
茨城県の未来をつくる「人財」
を育て、日本一子供を産み育
てやすい県を目指す

校訓 学校教育目標

やさしく かしこく たくましく
心ゆたかにたくましく夢や目標をもって生き生きと学ぶ児童の育成

めざす学校像 明るく楽しい学校 学び合える学校 協働し合える学校
めざす児童像 思いやりのあるやさしい子 生き生きと学ぶかしこい子 心身を鍛えるたくましい子
めざす教師像 思い情熱と使命感をもつ教師 健康で人間性豊かな教師 理解力と指導力のある教師

組織目標

社会の変化に対応できる、組織力の向上

研究テーマ 自ら考え、いきいきと表現することを楽しむ児童の育成
～『伝え合う』活動を通して「話す・聞く」能力を育成する指導の工夫～

古河市教育振興基本計画
「人が育ち文化の息づく
古河(まち)をつくる」

古河市学校教育の目標
○一人一人の個性や能力を
伸ばし確かな学びをはぐくむ
○健やかな体をつくり、
たくましい心を養う
○郷土古河を愛し、
豊かな心をつちかう

やさしく

1 基本的生活習慣の確立

- (1) 「あいさつ」、「返事」の励行
・元気なあいさつをしている 94.2%
- (2) 時刻を守る指導の徹底
- (3) 場に応じた言葉づかいの指導
- (4) 「黙働清掃」の徹底
- (5) 「下辺見小よい子の約束」の徹底
・きまりを守り、友達と仲良くしている 95.4%

2 一人一人が輝く学級経営の充実

- (1) 一人一人の居場所があり安心できる学級づくり
・クラスは居心地のよい安心できる場所 89.9%
- (2) 自己肯定感を高める学級づくり
・自分にはよいところや得意なことがある 89.5%
- (3) 学級活動、学校行事を通じた絆づくり
・学校は楽しい 92.7%

3 組織的な生徒指導の推進

- (1) 「いじめ防止基本方針」に基づく、未然防止・
早期発見・早期対応・再発防止の取組の推進
- (2) 「はやく・みんなで・きちんと」の合い言葉のもと、
チームで対応
- (3) 「報・連・相・確・記」の徹底

4 道徳的実践力の向上

- (1) 資料への自我関与を中心とした学習の推進
- (2) 問題解決的な学習の推進
- (3) 道徳的行動に関する体験的な学習の推進

重点目標

- ・元気なあいさつをしている
目標95% 91.6%(7月)→94.2%(12月)
- ・学校は楽しい
目標95% 90.2%(7月)→92.7%(12月)
- ・いじめを許さない
目標100% 90.8%(7月)→91.5%(12月)

かしこく

1 「わかる」授業の推進

- (1) 「下辺見スタイル」の深化を図る。
・授業はわかりやすい 90.0%
- (2) 「聞く」、「考える」、「伝え合う」授業の推進
・授業では自分で進んで考えたり、友だちと教え
合ったりしている 85.7%
・「式・図・言葉」「まず・次に・だから」などを使って
自分の考えをわかりやすく伝えている 78.3%
- (3) ゴールを意識した授業展開
・先生はわかりやすく教えてくれる 96.3%
- (4) 学習規律の定着

2 家庭学習の定着

- (1) 授業と連携した家庭学習の工夫
- (2) 「家庭学習の手引き」を用いた指導の継続
・家庭学習に毎日、取り組んでいる 90.5%
・年間50冊を目指して読書している 68.8%

3 全職員による特性に応じた支援教育の充実

- ・一人一人の特性に応じた指導体制、相談体制、
関係機関との連携の推進
- ・授業のユニバーサルデザイン化
- ・特別支援教育に関する研修の充実
(特別支援学校との連携)

重点目標

- ・授業はわかりやすい
目標95% 91.1%(7月)→90.0%(12月)
- ・「式・図・言葉」「まず・次に・だから」などを使って
自分の考えをわかりやすく伝えている
目標85% 81.0%(7月)→78.3%(12月)
- ・家庭学習に毎日、取り組んでいる
目標95% 89.6%(7月)→90.5%(12月)
- ・年間50冊を目指して読書している
目標85% 77.5%(7月)→68.8%(12月)

青字はR4 12月
児童対象アンケート結果
における肯定的な割合

青字はR4 12月
児童対象アンケート結果
における肯定的な割合

たくましく

1 体位・体力の向上

- (1) 体力テストの結果から見える課題への対応
- (2) 体力アップ推進プランの着実な実施
- (3) 運動意欲を高め運動が好きになる体育の授業づくり
・体育や休み時間に元気に運動している 86.2%

2 健康教育の推進・充実

- (1) 保健指導の日常化
・「早寝・早起き・朝ご飯」を実践している 81.7%
・虫歯などがあつたら、病院に行っている 92.1%
- (2) 計画的な栄養教室の実施
・給食は好き嫌いをせず、食べている 74.3%
- (3) 食物アレルギーに対する共通理解

3 安全教育の徹底

- (1) 全職員による登下校の歩き方の指導等、
- (2) 交通安全指導の徹底
・道路の歩き方や自転車のルールを守っている
97.3%
- (3) 危険回避能力の高揚に向けた指導の継続

4 安心・安全な学校づくり

- (1) 避難訓練を通じた危機管理意識の高揚
- (2) 安全点検を通じた事故の未然防止
- (3) PTAや若竹隊と連携した登下校指導の強化
- (4) 危機管理体制の充実

重点目標

- ・体育や休み時間に元気に運動している
目標90% 89.3%(7月)→86.2%(12月)
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」を実践している
目標90% 88.2%(7月)→81.7%(12月)
- ・給食は好き嫌いをせず、食べている
目標80% 69.7%(7月)→74.3%(12月)
- ・交通安全のルールを守っている
目標100% 96.5%(7月)→97.3%(12月)

持続可能な 学校教育

1 いつも元気でがんばる教員 でいるための働き方改革

- (1) 勤務開始・終了時間の
ミニフレックス制導入
コアタイム:8:00~16:30
- (2) 勤務時間外の業務削減
・掲示物等の簡素化 進行中
- (3) 学校業務の見直し
・各種事務処理の簡略化 検討中
・集金業務の削減 済み
・学校行事の見直し 進行中
- (4) 空き時間の確保
専科の先生の活用等 進行中

2 少しずつ、段階的に

- (1) たより類のペーパーから
データ配信への移行
保護者の肯定 81.8%(7月)
- (2) 定時退勤日の導入
保護者の肯定 95.2%(7月)
- (3) 欠席等の連絡をデジタル化
保護者の肯定 94.4%(12月)

重点目標

- 超過勤務時間について
・月45時間以内の遵守
→ほぼ達成
- ・過労死ライン80時間以上
の先生ゼロ→達成